

第48回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会	日 時	令和2年12月15日(火) 9:15～9:40	場 所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長 西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、柿崎環境部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、梅原企画政策課長、水落財政課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、石原健康課長			
議 題	1 令和2年第4回小金井市議会定例会補正予算における新型コロナウイルス感染症対策について 2 各部連絡事項			
資 料	1 令和2年第4回小金井市議会定例会補正予算における新型コロナウイルス感染症対策について			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>市長：昨日の総理の会見で、年末年始におけるGoToの一時停止が発表された。都においては、飲食店の営業時間短縮の期間延長が要請されたほか、年末年始は不要不急の外出を控えるよう呼びかけがあった。本市の感染者数は、12/15時点で218名、そのうち44名が療養中となっており、療養者数が極めて増加傾向にある。医師会と連携を取りながら対策を講じていきたい。</p> <p>12/13に発熱者検査センターが開設した。また、市民のための搬送車も、これまでの1台から2台体制に増えており、平日は市内からPCR検査センターへ、休日は発熱者外来センターへ市民を搬送している。</p> <p>【令和2年第4回小金井市議会定例会補正予算における新型コロナウイルス感染症対策について】 財政課長：別添資料について、意見修正があったら本日の午後3時まで知らせてほしい。完成版をホームページに掲載する。 広報秘書課長：市報には1月1日号に掲載予定である。</p> <p>【各部連絡事項】 生涯学習部長：市内各施設に感染情報の周知をするよう議員から提案があった。公民館等施設の館長には、市のホームページを定期的に確認するよう指示をしている。 福祉保健部長：現在市内の高齢者で、同居家族(子、孫)がコロナに感染したため、滞在先を探しているのが、病院からの受け入れは難しく、保健所でも「高齢者自身は陰性であるため対応ができない。」とのこわれている。市としては、引き続き訪問看護等の手配など支援方法を探していく。 教育長：市内各小中学校で感染者が出ているが、感染者が完治後にスムーズに学校に戻るようシトラスリボンプロジェクトを学校ごとに取り組む予定。 学校教育部長：感染者が発生した各学校の現在について。①最初の感染者が判明した小学校では、感染者も治癒し登校を再開している。②2番目の学校について、濃厚接触者も含めて全員今週中に登校を再開する。③3番目は家族からの感染。クラス全員がPCR検査を受け、現在検査の結果待ちである。④同じように家庭内感染。しばらく登校していなかったため、濃厚接触者はいない。臨時休校に伴う面談についても、すでに24人と面談を実施し、今後は36人と面談予定である。 子ども家庭部長：感染者が判明した学童保育所について、濃厚接触者は2名で今週は出勤しない。学童保育所自体は基準をクリアし運営を再開している。 福祉保健部長：市内の介護施設において、職員1名の感染が判明した。当該職員は12/9から出勤していないものの、濃厚接触者が職員・利用者合わせて5名おり、検査の結果は12/17前後にわかる予定。当該施設の運営について、感染予防対策を徹底して居室のサービスを継続予定。 総務部長：昨日(12/14)の都による会見の資料を「お知らせ」に掲載し職員に周知する。引き続き、体調不良の職員がいた場合、職員課に報告してほしい。 健康課長：第9回補正予算において、新型コロナウイルスのワクチン接種の関連で、コールセンターの予算を計上している。議決後に契約等を行い、令和3年2月1日から前原暫定集会施設でコールセンターを開設する予定。今後、ワクチン接種に係る入力作業についても予算を計上する予定。 市民部長：ワクチン接種の関係で、前原暫定集会施設を長期間利用するとすると、市民に一定の不便をかけることになるため、所管のコミュニティ文化課長と調整してほしい。</p> <p>市長：先ほど話のあった同居家族がコロナに感染した高齢者の件など、市民に対して十分に配慮し対応をお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>				